

先進工学部 情報メディア工学部 カリキュラム・マップ

必修科目 選択科目

カリキュラムポリシー

情報メディア工学部は、メディア情報システム分野やメディア表現分野において実践的な技能を有し、目まぐるしく変化する情報化社会で持続的に活躍できる高度技能技術者を育成します。学生がディプロマポリシーに掲げる目標を達成できるように、専門科目と共通科目をバランスよく配置し、「メディア情報システム」「メディア表現」の2つの専門分野を中心に、情報メディア工学の視点から、課題発見能力、問題解決能力、コミュニケーション能力を実践的に育成するカリキュラムを構築します。教育課程編成、教育内容、教育評価の方針を次のように定めます。

ディプロマポリシー

情報メディア工学部は、メディア情報システム分野やメディア表現分野において実践的な技能を有し、目まぐるしく変化する情報化社会で持続的に活躍できる高度技能技術者を育成します。所定の卒業要件を満たすことで、情報メディア工学に関する知識・技能及び以下に示す能力と素養を備えたものと認め、学士（工学）を授与します。

総合的課題解決能力

明確な解のない課題をそれまでに得られた知識と技能を用いて解を導き出せる。チームで仕事ができる。顧客の要求を的確に捉え、要件を適正に定義できる。

メディア表現能力

メディア表現能力

さまざまなメディアの特性を理解し、それらを活かした表現を行うことができる。またプログラミング能力をベースにした新しいメディア表現技法を習得し、価値創造ができる。

人間中心設計能力

分かり易かつ効率的な情報伝達方法やユーザインタラクションを具体化しながら設計仕様書を作成し、それを実装、評価、改良することができる。

メディア情報システムの設計・開発能力

論理的思考に基づくプログラミング能力

目的に応じて適切なプログラミング言語を選択できる。また処理手順を自然言語で記述でき、プログラムを作成できる。

課題発見・解決能力

ユーザが持つ課題を的確に捉え、学修した知識を応用しながらその解決方法を導き出し、これを要件定義書および設計仕様書として表現することができる。

情報システム設計開発能力

ソフトウェア技術、ハードウェア技術およびネットワーク技術を適切に組み合わせながら、情報システムの全体像をデザインすることができる。プログラミング言語やデータベースを使用しながらシステムを構築することができる。

大学での自立した学び・キャリア形成を実現する能力

カレッジマイスタープログラム

各学年の終了時に修得しておくべき知識・技能

